

## 「求められる機能」の選定（案）について

## 1 これまでの経緯と今後のスケジュール

令和2年10月 ～11月	跡地に求められる機能について、「①各種団体との意見交換会」「②市民ワークショップ」「③ストリートミーティング」などの手法で市民の意見を伺う。
令和2年12月	<b>【専門家委員会】</b> ○ワークショップ等で聴取した意見を整理し、求められる機能を複数案選定 ○選定した複数案の選択肢を基にアンケートの内容を協議
令和3年2月 ～3月	上記①②③などで伺った意見を取りまとめ、その後、市民アンケートなどを実施して「求められる機能」に関する本市の考えをまとめる。
令和3年3月	<b>【専門家委員会】</b> ○アンケート等から得られた意見から求められる機能の複数案を選定する。

現在はこの段階です

↓

令和3年5月 ～秋ごろ	令和2年度にまとめた「求められる機能」の案をもとに、活用策についてワークショップなどの方法で市民の意見を伺う。 伺った意見を取りまとめて、市民アンケートなどを実施して活用策を絞り込む。
----------------	---

↓

令和3年度中の 可能な限り早い時期	活用策について、本市としての一定の方向性を示す
----------------------	-------------------------

## 2 複数案の選定

- これまで、各種団体意見交換会やストリートミーティング、市民ワークショップなど、市民参画により多くのご意見を伺い、その意見を取りまとめ12の機能に整理した。
- このたびの市民アンケートの結果や関連計画等から総合的・客観的に判断し、本専門家委員会の議論、また議会「本庁舎跡地等活用に関する調査特別委員会」でのご意見・ご提言等も踏まえながら、最大5つの機能に絞り込む。
- なお、複数の機能を組み合わせながら活用策を検討することも想定する。

機能	活用策の一例	めざすべきまちづくり
① 教育・学習機能	カルチャーセンター、専門学校、図書館など	未来を創る人材を育むまちづくり
② 医療・福祉機能	病院、クリニック、保育所など	未来を創る人材を育むまちづくり 健康でいきいきと暮らせるまちづくり
③ 健康増進機能	スポーツ施設、スケートリンクなど	健康でいきいきと暮らせるまちづくり
④ 憩いの場・コミュニティ機能	公民館、コミュニティセンター、自由に出入りできる屋内スペースなど	人権を尊重し、ともに築く共生のまちづくり
⑤ ビジネス機能	オフィス、飲食店など	ビジネス環境の変化に対応した生産性の高い活力あるまちづくり
⑥ 観光・コンベンション機能	特産品展示販売、観光情報発信拠点など	人が集う交流と連携のまちづくり
⑦ 娯楽・レジャー機能	映画館、プラネタリウムなど	
⑧ 芸術・文化機能	美術館、音楽ホール、多目的ホールなど	文化芸術の薫りあふれるまちづくり
⑨ オープンスペース機能	公園・緑地・広場など	快適で暮らしやすい生活環境づくり
⑩ 生活基盤充実機能	マンション、高齢者住宅、銀行、行政窓口、スーパーなど	
⑪ 交通機能	バスターミナル、駐車場など	
⑫ 防災・減災機能	避難施設、防災拠点施設など	安全・安心に暮らせるまちづくり



- (1) いかなる活用を行う際でも、⑫防災・減災機能は取り入れる。
- (2) ①教育・学習機能と⑧芸術・文化機能は統合し、1つの機能とする。
- (3) ②医療・福祉機能と③健康増進機能は統合し、1つの機能とする。
- (4) ⑤ビジネス機能、⑥観光・コンベンション機能、⑩生活基盤充実機能、⑪交通機能は選定しないが、今後、具体的な活用策を検討していくうえで、複合施設等の一部として取り入れることも考える。
- (5) 選定した機能のイメージは下図のとおりとする。

①教育・学習	②医療・福祉	④憩いの場・ コミュニティ	⑦娯楽・レジャー	⑨オープンスペース
⑧芸術・文化	③健康増進			
⑫防災・減災				

### 3 求められる機能と関連計画との関係

- ①教育・学習機能～⑫防災・減災機能のすべての機能は、第1次鳥取市総合計画に掲げ推進することとしている。
- また、それぞれの機能は、中心市街地活性化基本計画にも掲げ、山陰東部の都市核としての中心市街地を目指している。
- ⑫防災・減災機能は、鳥取市地域防災計画により取組を進め、社会秩序の維持と公共の福祉の確保に努めている。
- 選定した機能と関連計画との関係のイメージは下図のとおりとなる。

